

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	昭和54年5月1日	水野 倫理	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人水野学園	昭和58年4月1日	水野 孝彦	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
目的	ジュエリーデザイン科ジュエリークリエイターコースは、ジュエリー・アクセサリ業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持ち、企業で活躍する人材または起業する人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	宝石専門課程	ジュエリーデザイン科 (ジュエリークリエイターコース)	平成25年文部科学省告示第2号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3408	156	128	6428	0	2208
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
144人	178人	6人	5人	11人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日 		成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。成績評価は、課題物評価、試験等により行う。			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始: 4月1日～4月14日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 2月17日～3月31日 		卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。 			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 国内外コンテスト参加、学園祭、海外研修旅行 など <ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動 なし			

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 (株)ミキモト装身具、(株)emデザイン、(株)A&S など</p> <p>ジュエリー業界、ファッション業界</p> <p>■就職率^{※1} 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 62 %</p> <p>■その他 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日 時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<p>貴金属装身具製作技能検定【3級・2級】</p> <p>ジュエリーコーディネーター検定【3級・2級】</p> <p>水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】 ジュエリー部門 ・デザイン【3級・2級・1級】 ・メタル【3級・2級・1級】 ・WAX【3級・2級・1級】</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 12 名</p> <p>平成29年4月1日 在学者 176 名 (平成29年4月5日 入学者を含む)</p> <p>平成30年3月31日 在学者 164 名 (平成30年3月15日 卒業者を含む)</p> <p>■中退率 6.8 %</p> <p>■中途退学の主な理由 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など</p> <p>■中退防止のための取組 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など</p>		
ホームページ	URL http://hikohiko.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ジュエリー・アクセサリ業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～④を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、ジュエリーデザイナー、製作者、販売スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする。

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名前	所属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
林 繁 様	ブライティングジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長
水野 倫理	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学校長
酒匂 博	学校法人 水野学園 教育部長
松山 英一	学校法人 水野学園 総務部長
斎藤 良	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
飯塚 ひろ子	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
大友 宏幸	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ウオッチ系) コース責任者
川島 謙二郎	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ シューメーカー科/バッグメーカー科 コース責任者

(開催日時)

第1回 平成29年8月28日 14:40～15:30

第2回 平成30年3月5日 14:00～16:40

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するジュエリーマーケットの現状を把握し、業界において即戦力をもった人材を育成するために、連携する企業より商品の企画から製品化までの流れを享受ならびに学生作品の評価を受けることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン造形実習Ⅲ-3 デザイン造形実習Ⅲ-4 デザイン造形実習Ⅲ-6	①コマーシャルジュエリー市場の現況や消費者のニーズについての知識習得 ②商品開発企画およびプレゼンテーションの実践的な手法の習得	株式会社エーアンドエス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ・実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、同業界から各職種の専門家による実践的技術・知識の研修を規定に則して計画的に実施する。
- ・指導力の習得・向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修を規定に則して計画的に実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名 前	所 属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
吉田 昌充様	東日本ハンドバッグ工業組合 理事長
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
堀田 峰明様	株式会社ホッタ 取締役社長
林 繁 様	ブライトリングジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長

(学校関係者評価結果の公表方法)

http://hikohiko.jp/about_info

5. 情報提供

(情報提供の方法)

http://hikohiko.jp/about_info

授業科目等の概要

(宝石専門課程ジュエリーデザイン学科 ジュエリークリエイターコース) 平成30年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン基礎実習Ⅰ-1 (パース技法 基礎Ⅰ)	透視図法の基本を習得し、ジュエリーレンダリングの基礎を学習する。	1前	40			○	○	○			
○			デザイン基礎実習Ⅰ-2 (デザイン展開 基礎)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1前	32			○	○	○			
○			デザイン基礎実習Ⅰ-3 (パース技法 基礎Ⅱ)	透視図法を応用し、ジュエリーレンダリングにおける基礎とその表現方法を学習する。	1前	32			○	○	○			
○			デザイン基礎実習Ⅰ-4 (ジュエリーデザイン 基礎Ⅰ)	ジュエリー独特の立体表現を理解し、様々なデザインリングの表現方法を学習する。	1後	48			○	○	○			
○			デザイン基礎実習Ⅰ-5 (宝石表現)	ジュエリーデザイン画の描き方や、宝石表現方法の基礎を学習する。	1後	40			○	○	○			
○			デザイン基礎実習Ⅰ-6 (リサーチからのデザインⅠ)	ジュエリーショップをリサーチし、設定ターゲットに合わせたセットジュエリーのデザイン展開や、プレゼンテーションを学習する。	1後	64			○	○	○			
○			宝石研磨	原石のカットからポリッシングまでの基礎を学習する。	1後	24			○	○	○			
○			コンピューター演習 (CADによるリング制作 基礎)	CADソフトの基本的な操作と、出力した立体造形物の制作工程の基礎を学習する。	1通	32		○	○	○				
○			メイキング基礎実習Ⅰ-1 (リング制作 基礎)	基本形状のリング制作を通して、ジュエリーメイキングの基礎技法と使用工具の名称や取り扱いを学習する。	1前	96			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-2 (ワックス造形 基礎)	ワックス素材の種類や特性を理解し、ワックスによる原型制作の方法および鑄造の基礎知識と仕組みを学習する。	1前	72			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-3 (覆輪留め技法)	覆輪留め技法による1個石リングの制作工程および仕上げ方法を学習する。	1前	32			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-4 (爪留め技法)	爪留め技法による1個石のペンダント制作を通して、パチカンを含めた制作工程および仕上げ方法を学習する。	1後	56			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-5 (立体造形 基礎Ⅰ)	粘土・WAXの2種類の材料を使用し、具象物を模刻することで造形力の基礎を学習する。	1前	32			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-6 (立体造形 基礎Ⅱ)	紙を材料とし、切る・折り曲げるなどのシンプルな技法のみを用いた立体造形の可能性を探求し、その造形表現を学習する。	1前	32			○	○	○			
○			メイキング基礎実習Ⅰ-7 (カービング技法 基礎)	硬質発泡スチロールを材料とし、カービング技法を用いた立体造形を学習する。	1後	40			○	○	○			

○		メイキング造形実習Ⅰ-1 (異素材の探求)	貴金属以外の素材や様々な技法の可能性を探求し、ジュエリーアイテムにおける展開方法と表現方法を学習する。	1 前	64				○	○	○				
○		メイキング造形実習Ⅰ-2 (ブローチ制作 基礎)	ブローチやブローチピンの種類や構造、その基礎的な制作工程および仕上げ方法を学習する。	1 後	32				○	○	○				
○		メイキング造形実習Ⅰ-3 (オリジナルジュエリー制作Ⅰ)	各々の表現意図および制作条件等を考慮した上での作品制作を学習する。	1 後	96				○	○	○				
○		メイキング造形実習Ⅰ-4 (プレートからのジュエリー制作)	切り回し、擦り合わせ、ロウ付け作業などの基本的な技法を用いた、平面素材からのジュエリー制作を学習する。	1 前	32				○	○	○				
○		メイキング造形実習Ⅰ-5 (ブレスレット・ピアス制作)	線の構成によるブレスレット及びピアスの制作工程を学習する。	1 後	64				○	○	○				
○		メイキング造形実習Ⅰ-6 (オリジナルジュエリー制作Ⅱ)	自分で研磨した石を石留めしたオリジナルジュエリー制作を通して、素材の形や特性をいかしたデザイン・造形表現を学習する。	1 後	72				○	○	○				
○		宝石学A-1 (宝石の基礎知識)	宝石の基礎知識。硬度や輝きなどの宝石に関係する基礎的な物理・光学的性や、宝石を種類別にそれぞれの知識について学習する。	1 通	40		△		○	○	○				
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	1 通	40				○	○	○				
○		スピードテスト・基礎知識テスト	基礎的なジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を学習する。	1 後	12		△		○	○	○				
○		特別セミナーⅠ	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	1 後	4		○		○	○	○				
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	1 通	136				○	○	○				
ファッションアートアクセサリ専攻															
○		デザイン基礎実習Ⅱ-1 (レンダリングⅠ)	コンピュータソフトによる図面作成、及びレンダリング作業を習得する。	2 前	32				○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-1 (ブックデザイン)	様々な素材を使用して制作したジュエリーの、オリジナルカタログを制作することで、グラフィックデザインと本の装丁方法を学習する。	2 後	72				○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-2 (画像からのデザイン)	画像データを使用してアクセサリを制作し、画像からのイメージを活かしたジュエリーデザインを学習する。	2 後	56				○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-3 (外部加工のジュエリー制作)	レーザーカットを用いて制作するアクセサリのデータ作成から実際の作品になるまでの工程を学習する。	2 後	32				○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-4 (リサーチからのデザインⅡ)	社会問題の分析から、パブリックに提案するジュエリーをデザイン。パワーポイントデータによるプレゼンテーション方法を学習する。	2 後	32				○	○	○				
○		コンピューター演習Ⅱ-1 (CADによるリング制作 応用)	CADソフトを使用してのジュエリー制作応用を学習する。	2 通	32			○	○	○					
○		メイキング基礎実習Ⅱ-1 (カタチの発掘)	植物のスケッチからの造形展開を学ぶ。線材、面材、塊材を使つての実制作を通して、具象形態と抽象形態におけるデザイン方法を学習する。	2 前	112				○	○	○				

○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-2 (素材の研究)	様々な素材や色の組み合わせから新たな価値観を発見しジュエリーを制作する方法を学習する。	2 前	88				○	○	○			
○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-3 (海外作家ワークショップ)	海外から講師を招聘し、自己表現をもとにした作品づくりの方法を学習する。	2 前	40				○	○	○			
○	○	メイキング造形実習Ⅱ-2 (ブローチ制作)	色をテーマにして素材を選んだ後ブローチを制作。オリジナル金具の制作、アルマイト加工によるアルミの着色も学習する。	2 後	104				○	○	○			
○	○	メイキング造形実習Ⅱ-3 (機能を持つジュエリー制作)	機能を持ったジュエリーのデザインおよび制作をすることで、ジュエリーにおける構造やしぐみについて学習する。	2 後	96				○	○	○			
○	○	メイキング造形実習Ⅱ-4 (ゴールドジュエリー制作)	金を素材にしたリング制作。素材の歴史や特徴のリサーチからデザインテーマを決定し、実作するまでのコンセプトワークの方法を学習する。	2 後	120				○	○	○			
○	○	メイキング造形実習Ⅱ-5 (テーマからのジュエリー制作)	与えられたキーワードから、各自の発想によるジュエリーを制作することで、個々の制作方法やアイデンティティの確立の方法を学習する。	2 後	120				○	○	○			
○	○	ファッション講義及び実習Ⅱ-1 (ファッション知識)	ファッションの基礎知識を得ると共に、ファッション画の描き方からジュエリーへの展開までを学習する。	2 前	32		△		○	○	○			
○	○	宝石学A-2 (ダイヤモンドの基礎知識)	ダイヤモンドに関する知識と実技実習。ダイヤモンドの全般的な知識と顕微鏡等の器具を用いた評価法の実技実習を学習する。	2 通	40		△		○	○	○			
○	○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2 通	24				○	○	○			
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2 通	136				○	○	○			
○	○	デザイン基礎実習Ⅲ-1 (レンダリングⅡ/PCスキルⅠ)	パール、ダイヤモンドメレーを使用したジュエリーデザインのレンダリング方法を学習する。	3 前	32				○	○	○			
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-1 (立体造形)	ケント紙を使用して、体に対するサイズ感を意識したジュエリー制作を学習する。	3 前	48				○	○	○			
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-2 (ポートフォリオ)	実際におこなった展覧会、ファッションショーの制作過程、作品、写真等を一冊の本にする事を学習する。	3 後	72				○	○	○			
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-3 (商品企画・提案/PCスキルⅡ)	他業種がジュエリーを新開発することを想定し、商品の企画提案を行う。パワーポイントを用い、プレゼンテーション手法について学習する。	3 後	32				○	○	○			○
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-4 (デザイン展開 応用)	現在まで制作した作品を振り返り、分析する。その結果から、今後の展開を考察し、新作デザインを学習する。	3 後	32				○	○	○			
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-5 (展示会プロデュース)	個展を開催することを想定し、タイトル、展示方法、DMデザイン等のトータルプロデュースを学習する。	3 後	32				○	○	○			
○	○	宝石学B-1 (カラーストーン講義)	宝石の鑑別方法や、宝石を色別にそれぞれの特徴を価格の違い等も含め学習する。	3 通	56		△		○	○	○			
○	○	ビジネス講義Ⅲ-1 (企業セミナー)	ジュエリー業界の様々な分野の方の話を直接聞く事により、ジュエリー業界の実際を広く学習する。	3 前	32		○				○			○
○	○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	3 通	36				○	○	○			

○		特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	3 後	4		○		○	○								
	○	特別セミナーⅢ	外部から講師を招聘し、専門分野における最新の情報・知識を学習する。	3 通	12		○		○									
○		卒業テスト	総合的なジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる専門知識を学習する。	3 後	4				○	○			○					
		○ 自主研修／自由制作	これまで学んできた技術・知識をさらに向上させるために自主的に研究・学習する。	3 通	136					○	○		○					
シルバーアクセサリー&クラフト専攻																		
	○	デザイン基礎実習Ⅱ-1 (レンダリングⅠ)	宝石を用いた高級宝飾品の画像をハイライトレンダで模写することで描写力を学習する。	2 前	32					○	○		○					
	○	デザイン基礎実習Ⅱ-2(立体造形 応用)	抽象的なモチーフからのデザイン展開、粘土による立体造形を学び、形状、量感、質感の表現方法を学習する。	2 前	32					○	○		○					
	○	デザイン基礎実習Ⅱ-3(ロゴデザ イン/PCスキルⅠ)	ロゴデザインをイラストレーター、フォトショップを用いて行いロゴについて学習する。	2 前	32					○	○		○					
	○	デザイン造形実習Ⅱ-1(提案のた めのデザイン)	ジュエリーブランドを選びジュエリーデザインの提案を通して、デザインにおける新しいアプローチ方法を学習する。	2 前	32					○	○		○					
	○	デザイン造形実習Ⅱ-2(オーダー デザイン)	ターゲットから既存のブランドを設定しオーダーデザインについて学習する。	2 後	32					○	○		○					
	○	デザイン造形実習Ⅱ-3(ポートフォ リオⅠ)	作品のテーマやコンセプトを他人に伝える為のツールとしてポートフォリオを制作する。自作品を撮影してPC上で配置や画像加工等の技術を学習する。	2 後	32					○	○		○					
	○	デザイン造形実習Ⅱ-4(コレクシ ョンデザイン)	展示会に向けてオリジナルブランドを設定し実制作する為のコレクションデザインを学習する。	2 後	40					○	○		○					
○		コンピューター演習Ⅱ-1 (CADによるリング制作 応用)	CADソフトを使用してのジュエリー制作を学習する。	2 通	32		○		○			○						
	○	コンピューターデザイン	グラフィックソフト、プレゼンソフトを使用して企画・デザインの方法を学習する。	2 通	24					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-1(彫り技 法)	毛彫り・片切り等の制作方法を学び、タガネの彫り技法によるテクスチャーのパターン展開、制作方法を学び、ジュエリーアイテムでの表現方法を学習する。	2 前	64					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-2(着色技 法)	アルミニウムのアルマイト着色、チタンの陽極酸化による着色技法を学び、ジュエリーを制作する方法を学習する。	2 前	72					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-3(色金/ 木目金)	色金の特性や、煮色による着色実習を行う。また木目金の制作方法を学び、ジュエリー制作を制作する方法を学習する。	2 前	72					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-4(ワックス 石座/量産実習Ⅰ)	ハードWAXから覆輪枠の石座を削りだし石枠付きの原型を制作する。またシリコンゴムでの量産技法を原型制作、ゴム型制作、インジェクション射出までを学習する。	2 前	64					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-5(海外作 家ワークショップ)	ドイツより講師3名を招き、ジュエリー制作を学ぶ。様々な素材を使用することから素材の特性を探り、試作を繰り返して一つの作品へと結実させる方法を学習する。	2 後	40					○	○		○					
	○	メイキング基礎実習Ⅱ-6(打ち出 し技法)	打ち出し技法の原理と制作技術、ヤニ台・オタフク槌等の使用方法、打ち出しタガネの制作を学習する。	2 後	80					○	○		○					

○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-7(ワックス造形 応用)	ハードWAXを使用して動物のペンダントを制作する。写実的に制作する方法として動物園での撮影、スケッチからペンダント原型としての形状模索までを学習する。	2後	80				○	○	○						
○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-8(鍛金技法)	鍛金技法の原理と制作技術、木臼・当て金・延べ糊等の使用方法を学び、工芸品やジュエリーの制作を学習する。	2後	32				○	○	○						
○	○	メイキング造形実習Ⅱ-2(レザーアイテム制作)	オリジナルデザインによるレザーウォレットの制作。型紙制作から革の裁断、組み立て、ダブルステッチまでを学習する。	2後	72				○	○	○						
○	○	宝石学A-2(ダイヤモンドの基礎知識)	ダイヤモンドに関する知識と実技実習。ダイヤモンドの全般的な知識と顕微鏡等の器具を用いた評価法の実技実習を学習する。	2通	40				○	○	○						
○	○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2通	24				○	○	○						
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2通	136				○	○	○						
○	○	デザイン基礎実習Ⅲ-1(PCスキルⅡ)	フォトショップとイラストレーターの基本操作を習得学習する。	3前	32				○	○	○						
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-1(外部加工のジュエリー制作)	オリジナルのデザインから外部業者にレーザーカットを発注し、完成したパーツを組み立てる。外部業者発注の方法と平面的デザインを立体に組み立てる工夫を学習する。	3前	48				○	○	○						
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-2(展示販売会の企画)	展示販売会の店内装デザインを行う。内装デザイン、ディスプレイ、商品展開だけではなく、立地、収支等の経営知識を学習する。	3前	32				○	○	○						
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-3(ポートフォリオⅡ)	作品のテーマやコンセプトを他人に伝えるためのツールとしてポートフォリオを制作する。自作品を撮影してPC上で配置や画像加工等の技術を学習する。	3後	64				○	○	○						
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-4(商品企画/プレゼンテーション)	異業種からジュエリーラインが立ち上げた想定のもと、企画デザイン、プレゼンテーションまで行い、商品企画の一連の流れを学習する。	3後	32				○	○	○						○
○	○	デザイン造形実習Ⅲ-5(コンテスト用デザイン)	デザインコンテストに向けたジュエリーの企画およびデザインを学習する。	3後	40				○	○	○						
○	○	メイキング造形実習Ⅲ-1(量産実習Ⅱ)	一つのパーツを量産してつなげてブレスレットを制作する。デザインとパーツの接続概念と制作技術を学習する。	3前	96				○	○	○						
○	○	メイキング造形実習Ⅲ-2(ターゲットジュエリー制作)	与えられたデザインテーマを基にターゲットに沿ったデザイン提案とその実作制作を学習する。	3前	160				○	○	○						
○	○	メイキング造形実習Ⅲ-4(電気鋳造)	エレクトロフォーミング電気鋳造の原理を理解して単一電池で電鋳システムを構築、電鋳原型となる中子を制作してメッキまでを学習する。	3後	72				○	○	○						
○	○	宝石学B-1(カラーストーン講義)	宝石の鑑別方法や、宝石を色別にそれぞれの特徴を価格の違い等も含め学習する。	3通	56		△		○	○	○						
○	○	ビジネス講義Ⅲ-1(企業セミナー)	ジュエリー業界の様々な分野の方の話を直接聞く事により、ジュエリー業界の実際を広く学習する。	3前	32		○			○	○						
○	○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	3通	36				○	○	○						
○	○	特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	3後	4		○		○	○	○						

○	メーキング造形実習Ⅱ-3(七宝技法)	七宝技法と宝飾技法を組み合わせたジュエリー制作を学習する。	2後	128					○	○	○							
○	TOOLS	宝飾に必要な工具の加工を学習する。	2通	24					○	○	○							
○	宝石学A-2(ダイヤモンドの基礎知識)	ダイヤに関する知識と実技実習。ダイヤモンドの全般的な知識と顕微鏡等の器具を用いた評価法の実技実習を学習する。	2通	40					○	○	○							
○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2通	24					○	○	○							
	○ 自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2通	136					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-1(ジュエリーコレクション)	宝石を用いた高級宝飾品の画像を模写することで描写力を学習する。	3前	32					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-2(リフォームジュエリー)	リフォームデザインの実際の流れ・原価計算等の必要な知識を学び、リフォームデザインを学習する。	3前	32					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-3(卒業制作デザイン)	3年間の集大成として、知識、技術、思考力を発揮する作品をデザインする。メーキング授業にて実作する。	3前	40					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-4(コンテスト用デザイン)	デザインコンテストに向けたジュエリーの企画およびデザインを学習する。	3後	32					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-5(ブライダルジュエリー)	ブライダルジュエリーデザインの実際の流れ・原価計算等の必要な知識を学び、ブライダルジュエリーの企画・商品提案方法を学習する。	3後	32					○	○	○							
○	デザイン造形実習Ⅲ-6(オリジナルブランド企画)	自身のブランドを設定し、ブランドの商品開発企画やプレゼンテーション方法等を学習する。	3後	32					○	○	○							○
○	デザイン造形実習Ⅲ-7(プロセスブック制作)	3年間の集大成として、今まで制作してきた作品をまとめたプロセスブックを制作する事でパソコンの使い方、本の装丁などを学習する。	3後	40					○	○	○							
○	メーキング基礎実習Ⅲ-1(石留め研究)	2年次では行っていない石留め技法や自身の作品に向けた技術を実作を通して研究する。	3前	64					○	○	○							
○	メーキング造形実習Ⅲ-1(18金ジュエリー)	18金を使用しオリジナルデザインのジュエリーを制作することで、コンセプト立案・デザイン提案・構造研究・制作までの1通りの流れを実作を通して学習する。	3前	200					○	○	○							
○	宝石学B-1(カラーストーン講義)	宝石の鑑別方法や、宝石を色別にそれぞれの特徴を価格の違い等も含め学習する。	3通	56			△		○	○	○							
○	ビジネス講義Ⅲ-1(企業セミナー)	ジュエリー業界の様々な分野の方の話を直接聞く事により、ジュエリー業界の実際を広く学習する。	3前	32			○			○	○							
○	学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	3通	36					○	○	○							
○	特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	3後	4			○		○	○								
○	特別セミナーⅢ	外部から講師を招聘し、専門分野における最新の情報・知識を学習する。	3通	20			○		○	○								

○		卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	3 後	4				○	○	○		
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	3 通	136				○	○	○		
合計				141	科目	8920	単位時間(単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。 履修方法＝課題物評価では『F』以外、試等では70点以上で履修となる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	26週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。